

リチウムイオン電池による火災について

No. 5

令和7年中、鹿児島市内では、出火原因のトップが「電気関係」の火災となっています。
「電気関係」中で最も多いのが「**リチウムイオン電池による火災**」で**約4割**を占めています。
過去5年の平均と比較しても**約3倍増加**しています。
そこで、今回は「**リチウムイオン電池による火災**」についてお伝えします。

火災事例

JR車内で乗客の男性が肩に掛けていたバッグの中から「プシュー」と音がした後、白色の煙が勢いよく噴き出てきたため近くの駅で下車し、バッグ内のモバイルバッテリーを取り出して、ホームの隅に置いた後、携帯電話で119番通報しました。被害は、バッグとバッグ内の収容物を焼損しています。

火災の原因は、モバイルバッテリー内の**リチウムイオン電池の内部短絡**により出火したものでした。

火災現場の写真



発火したモバイルバッテリー



破裂したリチウムイオン電池

リチウムイオン電池がもし出火したら・・・

◎ 周囲への周知と身の安全の確保【最優先】

製品が激しく燃えだしたら、まず、大声で周囲の人に知らせてください。その後、製品から離れて自分と周囲の人の安全を確保しましょう。

◎ 公共交通機関での対応

駅構内や列車・船内などで、発火や発煙を見かけた場合は、落ち着いて安全を確保し、速やかに係員や乗組員に知らせてください。

◎ 直ちに119番通報

身の安全を確保してから119番通報をしましょう。周囲の人がいる場合は通報を依頼しましょう。

◎ 安全が確保でき、可能であれば「初期消火」

火勢が収まった後など、安全が確保できる状況において可能であれば、被害の拡大を防ぐために、以下の方法で消火を行ってください。（※モバイルバッテリー等、小型のリチウムイオン電池使用製品が出火した場合に限る。）

① 消火器を使う。② 大量の水をかける ③ 水をためたバケツに投入する。

※ 炎が消えても再び出火する可能性があるため、消防隊が到着するまで触れないようにしましょう。